

# 令和3年度学校法人福岡大学収支予算

## 《令和3年度予算の重点施策》

- (1) 学生、患者及び教職員の安全を確保するための体制整備 (2) ウィズコロナに対応した教育、研究、医療体制の整備・充実  
 (3) 奨学金充実に向けた第3号基本金(※1)の拡充 (4) 組織再編、集約による人員の適正化及び人件費比率の低減  
 ※1 第3号基本金…運用果実を奨学金などに充てるために繰り入れた基金の額(令和元年度末残高23.5億円)

## 1. 令和3年度事業活動収支予算 (予算規模810億円)

(単位:千円)

No.	科目	3年度予算額	2年度予算額	差異
1	学生生徒等納付金	28,104,701	27,890,957	213,744
2	手数料	1,482,757	1,472,622	10,135
3	寄付金	813,847	913,666	△ 99,819
4	經常費等補助金	6,128,660	5,448,618	680,042
5	付随事業収入	1,245,570	1,226,671	18,899
6	医療収入	40,649,123	41,717,156	△ 1,068,033
7	雑収入	1,534,073	1,397,395	136,678
8	教育活動収入計	79,958,731	80,067,085	△ 108,354
9	人件費	42,444,359	41,730,462	713,897
10	(うち退職給与引当金繰入額)	(2,460,889)	(1,955,479)	(505,410)
11	教育研究経費	33,165,411	34,235,043	△ 1,069,632
12	(うち減価償却額)	(5,476,628)	(5,670,971)	(△ 194,343)
13	管理経費	3,394,725	3,626,366	△ 231,641
14	(うち減価償却額)	(389,174)	(381,059)	(8,115)
15	教育活動支出計	79,004,495	79,591,871	△ 587,376
16	教育活動収支差額(8-15)	954,236	475,214	479,022
17	受取利息・配当金	923,705	865,172	58,533
18	その他の教育活動外収入	38,000	50,000	△ 12,000
19	教育活動外収入計	961,705	915,172	46,533
20	借入金等利息	99,486	113,302	△ 13,816
21	その他の教育活動外支出	0	0	0
22	教育活動外支出計	99,486	113,302	△ 13,816
23	教育活動外収支差額(19-22)	862,219	801,870	60,349
24	經常収支差額(16+23)	1,816,455	1,277,084	539,371
25	資産売却差額	0	0	0
26	その他の特別収入	78,723	278,819	△ 200,096
27	特別収入計	78,723	278,819	△ 200,096
28	資産処分差額	0	0	0
29	その他の特別支出	0	0	0
30	特別支出計	0	0	0
31	特別収支差額(27-30)	78,723	278,819	△ 200,096
32	[予備費]	506,565	505,999	566
33	基本金組入前当年度収支差額(24+31-32)	1,388,613	1,049,904	338,709
34	基本金組入額合計	△ 8,645,048	△ 8,391,612	△ 253,436
35	当年度収支差額(33+34)	△ 7,256,435	△ 7,341,708	85,273
36	前年度繰越収支差額	△ 29,262,453	△ 23,837,528	△ 5,424,925
37	翌年度繰越収支差額(35+36)	△ 36,518,888	△ 31,179,236	△ 5,339,652
38	事業活動収入計(8+19+27)	80,999,159	81,261,076	△ 261,917
39	事業活動支出計(15+22+30+32)	79,610,546	80,211,172	△ 600,626

経常的な収支のうち、**本業の教育活動の収支**を見ることができ、3年度は9億5,400万円の収入超過となる見込み。2年度より学生生徒等納付金が2億1,400万円、經常費等補助金が6億8,000万円増加、医療収入が10億6,800万円減少、人件費が7億1,400万円増加、教育研究経費が10億7,000万円、管理経費が2億3,200万円減少。

経常的な**収支バランス**を見ることができ、3年度は18億1,600万円の収入超過となる見込み。

資産売却や施設・設備関係の補助金等の**臨時的な収支**を見ることができ、3年度は7,900万円の収入超過となる見込み。2年度より教育装置に係る補助金の減少に伴い2億円減少。

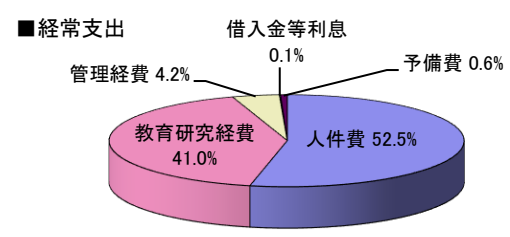
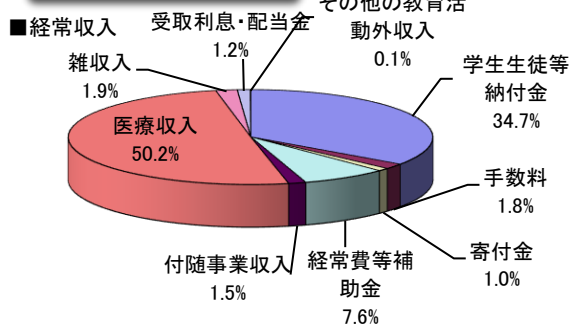
良好な教育・研究・医療環境を維持するための施設・設備等の額である。2年度より2億5,300万円増加。

経常的な収支のうち、**財務活動の収支**を見ることができ、3年度は8億6,200万円の収入超過となる見込み。

毎年度の**収支バランス**を見ることができ、従来の帰属収支差額である。3年度は13億8,900万円の収入超過となる見込み。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除したものの。3年度は72億5,600万円の支出超過となる見込み。

経常収入に対する比率



※ 各科目の構成比率は経常収入を100%として表示しています。

### 【事業活動収支予算の概要】

・ No. 33基本金組入前当年度収支差額 (No. 38事業活動収入－No. 39事業活動支出) は、13億8,900万円の収入超過を見込んでおり、事業活動収支差額比率 (No. 33基本金組入前当年度収支差額÷No. 38事業活動収入) は、1.7%となっています。  
 ・ 人件費比率 (No. 9人件費÷經常収入 [No. 8教育活動収入+No. 19教育活動外収入]) は、52.5%となり、前年度予算より1.0ポイント高くなっています。

## 2. 令和3年度資金収支予算 (予算規模1,217億円)

(単位:千円)

収入の部				
No.	科目	3年度予算額	2年度予算額	差異
1	学生生徒等納付金収入	28,104,701	27,890,957	213,744
2	手数料収入	1,482,757	1,472,623	10,134
3	寄付金収入	823,038	974,053	△ 151,015
4	補助金収入	6,198,192	5,667,050	531,142
5	付随事業・収益事業収入	1,283,570	1,276,671	6,899
6	医療収入	40,649,123	41,717,156	△ 1,068,033
7	受取利息・配当金収入	923,705	865,172	58,533
8	雑収入	1,534,073	1,397,395	136,678
9	借入金収入	4,000,000	0	4,000,000
10	前受金収入	5,242,398	5,274,697	△ 32,299
11	その他の収入	26,824,707	30,308,678	△ 3,483,971
12	資金収入調整勘定	△ 13,547,838	△ 13,746,783	198,945
13	<b>収入計</b>	<b>103,518,426</b>	<b>103,097,669</b>	<b>420,757</b>
14	前年度繰越支払資金	18,161,001	16,012,460	2,148,541
15	<b>収入の部合計</b>	<b>121,679,427</b>	<b>119,110,129</b>	<b>2,569,298</b>

《収入の3本柱》

学生生徒等が納める授業料や入学金などのこと。聴講料や補講料も含まれます。

国や地方公共団体などからの助成金です。

福岡大学病院、筑紫病院、西新病院の医療収入です。

・長期、短期の貸付金の回収額  
・税金等の預り金受入額  
・特定の目的のために積み立てた資産を取崩した額

翌年度に入学予定の学生生徒等から受け入れる授業料や入学金などです。

収入として計上したが未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。

(単位:千円)

支出の部				
No.	科目	3年度予算額	2年度予算額	差異
16	人件費支出	42,169,181	41,649,723	519,458
17	教育研究経費支出	27,688,783	28,564,072	△ 875,289
18	管理経費支出	3,005,552	3,245,307	△ 239,755
19	借入金等利息支出	99,486	113,302	△ 13,816
20	借入金等返済支出	568,150	568,150	0
21	施設関係支出	6,946,981	4,787,696	2,159,285
22	設備関係支出	1,490,597	4,301,098	△ 2,810,501
23	資産運用支出	7,158,861	4,107,032	3,051,829
24	その他の支出	20,849,778	20,153,104	696,674
25	予備費	508,235	508,235	0
26	資金支出調整勘定	△ 5,836,886	△ 6,921,454	1,084,568
27	<b>支出計</b>	<b>104,648,718</b>	<b>101,076,265</b>	<b>3,572,453</b>
28	翌年度繰越支払資金	17,030,709	18,033,864	△ 1,003,155
29	<b>支出の部合計</b>	<b>121,679,427</b>	<b>119,110,129</b>	<b>2,569,298</b>

教職員に支払われる給与などのことです。

土地、建物、構築物などを取得するための支出です。

より良い教育研究サービスを提供するために資産を積み立てるための支出などです。

学長裁量経費、文部科学省施策対応および予算編成時において予期しない支出に対応するためのものです。

学生生徒等の教育・研究・医療のために支出する経費です。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

教育研究用の機器備品、管理用の機器備品、図書などを取得するための支出です。

支出として計上したが未払となっているものや、前払金支払支出として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。

### 【資金収支予算の概要】 (注: ↑…増加を示す ↓…減少を示す)

《収入の部》		《支出の部》	
No. 1	学生生徒等納付金収入 ↑ 大学の授業料等の値上げによる増加。	No. 16	人件費支出 ↑ 福岡大学病院職員人件費の増加。
No. 3	寄付金収入 ↓ 寄付研究収入の減少。	No. 17	教育研究経費支出 ↓ 学内情報システム更新に伴う消耗品費支出・支払手数料支出の減少。
No. 4	補助金収入 ↑ 授業料減免費交付金による増加。	No. 21	施設関係支出 ↑ 福岡大学病院新本館（仮称）新築工事に伴う建物支出の増加。
No. 6	医療収入 ↓ 筑紫病院の入院・外来患者数および入院診療単価の減少。	No. 22	設備関係支出 ↓ 学内情報システムおよび福岡大学病院の機械器具支出の減少。
No. 9	借入金収入 ↑ 福岡大学病院新本館（仮称）新築工事に伴う借入金の増加。	No. 23	資産運用支出 ↑ 各種特定資産への繰り入れ支出の増加。
No. 11	その他の収入 ↓ 各種特定資産からの取崩収入の減少。	No. 24	その他の支出 ↑ 前期末未払金支出の増加。

#### 〔資金収支規模と翌年度繰越支払資金〕

- ・資金収支予算の合計は1,217億円で、前年度予算より26億円の増加となっています。
- ・資金収支のてん末としての翌年度繰越支払資金は170億円で、前年度予算より10億円の減少となっています。

## 《令和3年度予算の特徴》

- (1) 教育関係
  - ① 奨学費（高等教育支援制度の授業料減免）
  - ② 学部教育充実予算
  - ③ 設備一式更新（A棟6・8階ゼミ室他6室）
- (2) 研究関係
  - ① 基盤研究機関研究所（先端分子医学研究所他8研究所）
  - ② 産学官連携研究機関研究所（資源循環・環境制御システム研究所他9研究所）
- (3) メディカル部門
  - ① 福岡大学病院
    - ・ 部門システム更新
    - ・ X線一般撮影装置
  - ② 西新病院
    - ・ 電子カルテシステム
    - ・ 汎用超音波診断装置
- (4) 附属高等学校・中学校部門
  - ① 大濠高等学校・中学校
    - ・ 教務システム導入費用
  - ② 若葉高等学校
    - ・ 教務システム導入費用
    - ・ 車両（小型バス）
- (5) 施設関係
  - ① 福岡大学病院新本館（仮称）新築工事・設備盛替他工事および実施設計業務委託他
  - ② 公認プール解体工事
  - ③ 16号館各室GHP他空調機改修工事
  - ④ 文系センター高層棟西側各階トイレ改修工事
  - ⑤ 陸上競技場第3種公認更新に伴う改修工事
  - ⑥ 革新的プラスチック資源循環プロセス技術開発研究棟（仮称）新築工事
  - ⑦ 艇庫耐震改修工事
  - ⑧ 福岡大学西新病院地階設備機械室冷温水発生機取替工事
  - ⑨ 若葉高等学校グラウンド北側防球ネット増設工事
  - ⑩ 馬術部部室他建替工事
- (6) コロナ関係
  - ① 福岡大学病院車両（ドクターカー）
  - ② 遠隔授業に関する経費
  - ③ 入試に関する経費
  - ④ 通信費・消耗品費他
- (7) 学長裁量経費

## 【学校法人会計の豆知識】

- ・平成27年度から学校法人会計基準が改正され、資金収支計算書では勘定科目等の見直しが行われています。また、従来の消費収支計算書は名称が事業活動収支計算書となり、内容が大幅に変更されています。消費収支計算書では、収入・支出とも総額で把握していましたが、近年の臨時的・事業外の収支の増加を踏まえ、区分経理を導入し収支を経常的なものと臨時的なものに、さらに経常的な収支を教育活動と教育活動外に分けて把握することができるようになりました。また、近年の私学を取り巻く経営環境の変化に対応するため、毎期の収支バランスを見るのに適した基本金組入れ前の収支差額も、表示されるようになりました。
- ・学校法人は営利の追求を目的とする一般企業とは異なり、教育研究活動を目的とする公共性の高い法人です。

### (1) 資金収支計算書

- ① 企業会計の「キャッシュフロー計算書」に似た性格を持つ計算書です。
- ② 家庭でいえば家計簿のように現金預金の出入りを集計した計算書です。

### (2) 事業活動収支計算書

- ① 企業会計の「損益計算書」に似た性格を持つ計算書であり、採算の取れた経営を行っているか、経営上赤字になっていないかを見る計算書です。
- ② 企業会計の「損益計算書」では計上対象とならない資本的支出が基本金組入額として計上されています。